

令和6年（2024年）3月8日（金曜日）

第9号

令和6年第1回北海道議会定例会会議録

第9号

令和6年（2024年）3月8日（金曜日）

議事日程 第9号

3月8日午後2時開議

日程第1、議案第89号ないし第103号

○本日の会議に付した案件

1. 日程第1

1. 休会の決定

出席議員（98人）

議長 100番 富原 亮 君
副議長 81番 稲村 久男 君
2番 石川 さわ子 君
3番 小林 千代美 君
4番 清水 敬弘 君
5番 板谷 よしひさ 君
6番 今津 寛史 君
7番 木下 雅之 君
8番 黒田 栄継 君
9番 小林 雄志 君
10番 高田 真次 君
11番 武市 尚子 君
12番 千葉 真裕 君
13番 角田 一 君
14番 鶴羽 芳代子 君
15番 戸田 安彦 君
16番 早坂 貴敏 君
17番 藤井 辰吉 君
18番 前田 一男 君
19番 水間 健太 君

20番 和田 敬太 君
21番 鈴木 仁志 君
22番 田中 勝一 君
23番 鶴間 秀典 君
24番 海野 真樹 君
25番 丸山 はるみ 君
26番 中村 守 君
27番 寺島 信寿 君
28番 水口 典一 君
29番 川澄 宗之介 君
30番 木葉 淳 君
31番 小泉 真志 君
32番 鈴木 一磨 君
33番 武田 浩光 君
34番 渕上 綾子 君
35番 宮崎 アカネ 君
36番 山根 まさひろ 君
37番 植村 真美 君
38番 佐々木 大介 君
39番 滝口 直人 君
40番 林 祐作 君
41番 檜垣 尚子 君
42番 宮下 准一 君
43番 村田 光成 君
44番 渡邊 靖司 君
46番 安住 太伸 君
47番 内田 尊之 君
48番 大越 農子 君
49番 太田 憲之 君
50番 加藤 貴弘 君
51番 桐木 茂雄 君

52番	久保秋 雄 太 君	87番	花 崎 勝 君
53番	佐 藤 禎 洋 君	88番	三 好 雅 君
54番	清 水 拓 也 君	89番	村 木 中 君
55番	千 葉 英 也 君	90番	吉 田 祐 樹 君
56番	道 見 泰 憲 君	91番	田 中 芳 憲 君
57番	船 橋 賢 二 君	92番	松 浦 宗 信 君
58番	丸 岩 浩 二 君	93番	中 司 哲 雄 君
59番	笠 井 龍 司 君	94番	藤 沢 澄 雄 君
60番	中 野 秀 敏 君	95番	村 田 憲 俊 君
61番	池 端 英 昭 君	96番	吉 田 正 人 君
62番	菅 原 和 忠 君	97番	喜 多 龍 一 君
63番	中 川 浩 利 君	98番	伊 藤 条 一 君
64番	畠 山 みのり 君	99番	高 橋 文 明 君
65番	沖 田 清 志 君	欠 席 議 員（2人）	
66番	笹 田 浩 君	1 番	山 崎 真由美 君
67番	白 川 祥 二 君	45番	浅 野 貴 博 君
68番	新 沼 透 君	<hr/>	
69番	阿知良 寛 美 君	出 席 説 明 員	
70番	田 中 英 樹 君	知 事	鈴 木 直 道 君
71番	中野渡 志 穂 君	副 知 事	浦 本 元 人 君
72番	真 下 紀 子 君	同	土 屋 俊 亮 君
73番	荒 当 聖 吾 君	同	濱 坂 真 一 君
74番	森 成 之 君	公 営 企 業 管 理 者	天 沼 宇 雄 君
75番	赤 根 広 介 君	病 院 事 業 管 理 者	鈴 木 信 寛 君
76番	佐 藤 伸 弥 君	総 務 部 長	山 本 倫 彦 君
77番	池 本 柳 次 君	兼 北 方 領 土 対 策 部 長	谷 内 浩 史 君
78番	滝 口 信 喜 君	総 務 部 職 員 監	古 岡 昇 君
79番	松 山 丈 史 君	総 務 部 危 機 管 理 監	三 橋 剛 君
80番	市 橋 修 治 君	総 合 政 策 部 長	水 口 伸 生 君
82番	梶 谷 大 志 君	総 合 政 策 部 次 世 代 社 会 戦 略 監	菅 原 裕 之 君
83番	北 口 雄 幸 君	総 合 政 策 部 地 域 振 興 監	宇 野 稔 弘 君
84番	広 田 まゆみ 君	総 合 政 策 部 交 通 企 画 監	
85番	高 橋 亨 君		
86番	平 出 陽 子 君		

環境生活部長	加納孝之君	総務課長	岡内誠君
環境生活部 アイヌ政策監	相田俊一君		
保健福祉部長	道場満君	選挙管理委員会 事務局 長	上田哲史君
保健福祉部 感染症対策監	佐賀井裕一君		
保健福祉部 子ども応援社会 推進 監	野澤めぐみ君	人事委員会 事務局 長	佐藤則子君
経済部長	中島俊明君	警察本部長	鈴木信弘君
経済部観光振興監	榎信彦君	総務部長	尾辻英一君
経済部食産業振興監	仲野克彦君	総務部参事官 兼 総務課 長	鈴木直人君
経済部 ゼロカーボン推進監	今井太志君		
農政部長	水戸部裕君	労働委員会 事務局 長	田辺きよみ君
農政部 食の安全推進監	野崎直人君		
水産林務部長	山口修司君	代表監査委員	深瀬聡君
建設部長	白石俊哉君	監査委員事務局 長	佐藤隆久君
建設部建築企画監	細谷俊人君		
会計管理者 兼 出納局長	森隆司君	収用委員会 事務局 長	表谷吉恭君
企業局長	辻井宏文君		
道立病院部長	岡本收司君	議会事務局職員出席者	
財政局長	木村敏康君	事務局 長	佐々木徹君
財政課長	松林直邦君	議事課 長	本間治君
		議事課長補佐	松村伸彦君
教育委員会教育長	倉本博史君	議事係 長	小倉拓也君
教育部長 兼 教育職員監	北村英則君	議事課主任	古賀勝明君
学校教育監	山本純史君	同	成田将幸君

午後2時1分開議

○議長富原亮君 これより本日の会議を開きます。
報告をさせます。

〔本間議事課長朗読〕

1. 予算特別委員会の

委員長に 三好 雅 委員
副委員長に 武田 浩光 委員

をそれぞれ選任した旨報告がありました。

1. 予算特別委員長から、議案審査の結果について報告がありました。

（上の委員会審査報告書一覧は巻末**議案の部**に掲載する）

1. 本日の会議録署名議員は、

桐木 茂雄 議員
久保秋 雄太 議員
佐藤 禎洋 議員

であります。

1. 日程第1、議案第89号ないし第103号

○議長富原亮君 日程第1、議案第89号ないし第103号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。

予算特別委員長三好雅君。

1. 議案第89号ないし第103号に関する報告

○88番三好雅君（登壇・拍手）私は、予算特別委員会に付託されました議案のうち、ただいま議題となりました議案第89号ないし第103号につきまして、その審査の経過と結果について御報告を申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は3月7日に設置され、令和6年度各会計予算18件及び関連議案2件、並びに、令和5年度各会計補正予算15件、計35件が付託された次第であります。

本委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行うとともに、議案審査の方法などについて協議いたしました結果、ただいま議題となっております令和5年度各会計補正予算につきましては、年度末も切迫しておりますことから、これを先議することに決定し、本日、委員会を開き審査を行った次第であります。

審査における論議の概要を申し上げますと、

財政運営について

公共事業費について

保健福祉関係の義務的経費について

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金関連事業費について

地域医療介護総合確保基金について

中小企業総合振興資金貸付金について

観光振興について

観光予算について

財政運営について

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金について

地球温暖化防止対策基金関連経費について

道立病院について

公債管理特別会計繰出金について

積立財源の捻出について

道税収入について

公共事業費等について

畜産振興総合対策事業について

欧米豪F I T旅行客誘客・受入事業費について

観光関連予算について

観光振興について

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金関連事業費について

北海道地球温暖化防止対策基金について

であります。

その後、直ちに付託議案について意見の調整を図りました結果、議案第89号、第93号及び第94号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって、いずれも原案可決、その他の案件、すなわち、議案第90号ないし第92号及び第95号ないし第103号につきましては、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、審査の経過に鑑み、次の意見、すなわち、

1. 今回の最終補正において提案された「欧米豪F I T旅行客誘客・受入事業費」については、実施の必要性や提案の時期など、本委員会で議論がなされたところであるが、事実と異なる報道が先行するなど、議会との信頼関係が損なわれかねない事態となったところであり、極めて遺憾である。

道は、議会との議論に当たっては、道の政策決定の過程として、事業が必要となった経過や見込まれる効果などについて、観光振興はもとより、多岐にわたる道の政策に道民や関係団体の理解が得られるよう、これまで以上に真摯に対応すべきである。

との意見を付されたい旨の動議が提出され、採決の結果、賛成者多数をもってこれを決定した次第であります。

以上、本委員会において先議いたしました議案審査の経過と結果を申し上げた次第であります。

なお、令和6年度各会計予算及びこれに関連する議案につきましては、速やかに審査を行い、後日、御報告を申し上げたいと存じます。

以上をもちまして私の報告を終わります。（拍手）

1. 討 論

○議長富原亮君 これより討論に入ります。

討論の通告がありますので、発言を許します。

丸山はるみ君。

○25番丸山はるみ君（登壇・拍手）（発言する者あり）私は、日本共産党道議団を代表して、議案第89号、第93号及び第94号に対する反対討論を行います。

初めに、議案第89号、令和5年度——2023年度北海道一般会計補正予算についてです。

反対理由の第1は、最終補正提案として適切とは言い難い観光振興関連予算が計上されていることです。

欧米豪F I T旅行客誘客・受入事業費として、1億5541万9000円が計上されています。

観光庁の公募事業である、特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業に北海道観光振興機構が公募したことを受け、公募事業の対象外経費を道の予算として充当することとしています。

道は、緊急性を要し、事業効果を最大限に高めるためと、最終補正予算計上の理由を説明しますが、一般質問でも指摘したとおり、物価高騰対策や医療、介護、保育、交通など、緊急的に実施しなければならない事業が山積しています。

それらの対策が全く不十分な中、観光振興事業だけが、なぜ事業の必要性を認められ、これまでの対応ではほぼあり得なかった最終補正での予算計上を行うのか、議会議論を経てもなお、疑念は払拭されていません。

最終補正予算は、本来、災害等の緊急対応や執行残等の予算確定を行うのが通例だったはずで

す。緊急性の妥当性も明確でない事業のために、最終補正予算で約1億6000万円もの巨額の予算を提案することは到底納得できず、本当に必要な事業であるならば、来年度当初予算等で対応すべきでした。

道としての説明責任を果たしているとは言えず、最終補正予算提案としてふさわしくなく、賛成できません。

第2に、北海道地球温暖化防止対策基金の事業費が約4億6722万円の減額補正となっていることです。

これまで、我が会派は、100億円基金の設置根拠が不明確だと指摘してきましたが、道自身が設定した目標に対して、毎年度ごとにどれだけの達成を果たし、最終的な目標に到達するのか、具体的なビジョンが見えてきません。

温室効果ガスの削減目標自体をさらに引き上げる必要があり、省エネ、新エネの取組をさらに拡大させていくことが必要な中、寄附金を集めておきながら多額の予算を執行せずに終わったことは、事業設計自体の妥当性についても検証が必要と考えます。

以上の理由により、議案第89号には反対です。

議案第93号、令和5年度——2023年度北海道苫小牧東部地域開発出資特別会計補正予算、議案第94号、令和5年度——2023年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計補正予算についてです。

両事業は、元金の積立て不足の解消を図る目的として、一般会計からの借入を、苫東開発は1999年から、石狩湾新港開発は2003年から行っています。

今補正は、苫東開発が8億129万円、石狩湾新港開発が9437万2000円を新たに借り入れるものです。

一般会計借入金の累計額は、苫東開発で113億2848万1157円、石狩湾新港開発で27億1813万6977円と、いずれも過去最高を更新し続けています。

これまでも、我が会派は、一般会計借入金を青天井のように投入し続け、歯止めが全く利いていない現状を厳しく批判し、現状からの転換を図るよう、対策を道に求めましたが、何ら具体的な対策は示されていません。

本補正予算案は、一般会計借入金をさらに増大するものであり、道民負担が増すばかりとなります。

よって、議案第93号及び第94号については反対です。

以上で私の反対討論を終わります。（拍手）（発言する者あり）

○議長富原亮君 以上で通告の討論は終わりました。

これをもって討論を終結いたします。

日程第1のうち、議案第89号、第93号及び第94号を問題といたします。

これより採決いたします。

この採決は起立によります。

本件に関する委員長報告は全て可決であります。

本件を委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長富原亮君 起立多数であります。

よって、本件はそのように決定いたしました。

日程第1のうち、議案第90号ないし第92号及び第95号ないし第103号を問題といたします。

本件に関する委員長報告は全て可決であります。

お諮りいたします。

別に御発言もなければ、本件は、いずれも委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長富原亮君 御異議なしと認めます。

よって、本件は、いずれもそのように決定いたしました。

1. 休会の決定

【令和6年（2024年）3月8日（金曜日） 第9号】

○議長富原亮君 お諮りいたします。

各委員会付託議案等審査のため、3月11日から3月15日まで、及び、3月18日は本会議を休会することにいたしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長富原亮君 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

以上をもって本日の日程は終了いたしました。

3月19日の議事日程は当日御通知いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午後2時15分散会